

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号 37

作成日 平成 17 年 6 月 20 日

事業名 学校手洗所改修工事
 所属名 教育委員会 庶務課 施設係
 電話番号 (03)5662-1623 (直通)

事業の目的及び概要
 児童・生徒が快適な学校生活を過ごせるよう、老朽化した手洗所の改修を実施します。当面の目標として、今日の実情にそぐわない男女の仕切りが簡易である手洗所を平成18年度末までに計画的に男女別手洗所に改修整備します。

事業の開始年度 平成13年度から実施

現在の課題

- ① 老朽化している手洗所が多数あり、改修を一層積極的・計画的に進める必要があります。
- ② コスト削減を行ってきたが、現在以上に㎡単価を下げるのが困難となっています。
- ③ 国庫補助金枠の縮小により区費負担が増大しています。(H16年度：約26%)

事業の対象者と動向 区民全体 対象年齢あり(6歳～15歳)
 [区人口・各年5月1日現在] 対象条件(区立小中学校の児童生徒) 小学校：73校、189系統
 中学校：33校、94系統

13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	対象の傾向
48,101人	48,963人	49,987人	51,030人		↗ 増加傾向

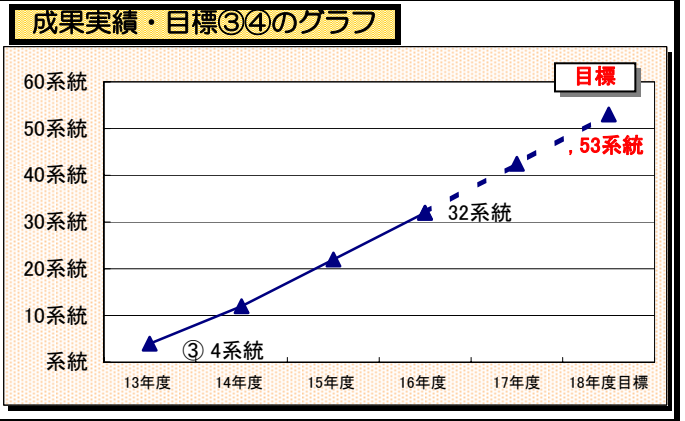
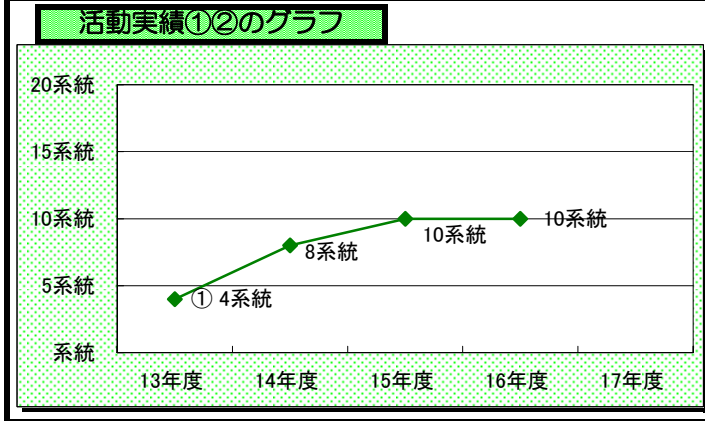
備考：他の22区と異なり、江戸川区では今後しばらくの間は児童生徒数は増加していく傾向にあります。

	活動指標名	活動指標の説明
①	簡易間仕切り手洗所の改修系統数	1年間に工事実施する対象系統数(系統：同一の配管で上階～下階に繋がる複数の手洗所)
②		

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
①	4系統	8系統	10系統	10系統	
②					

	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	簡易間仕切り手洗所の改修系統総数	13年度以降の手洗所の改修系統の累計数(年度末数値)
④		

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度目標	18年度目標	目標値設定の説明
③	4系統	12系統	22系統	32系統	系統	53系統	18年度末までに小学校の簡易間仕切りの手洗所がなくなった状態(小学校の手洗所系統数：189系統)
④							



事業名 学校手洗所改修工事

実施の根拠となる法令等

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（ ）

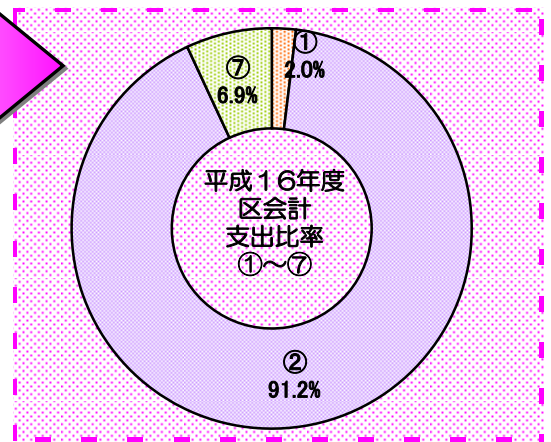
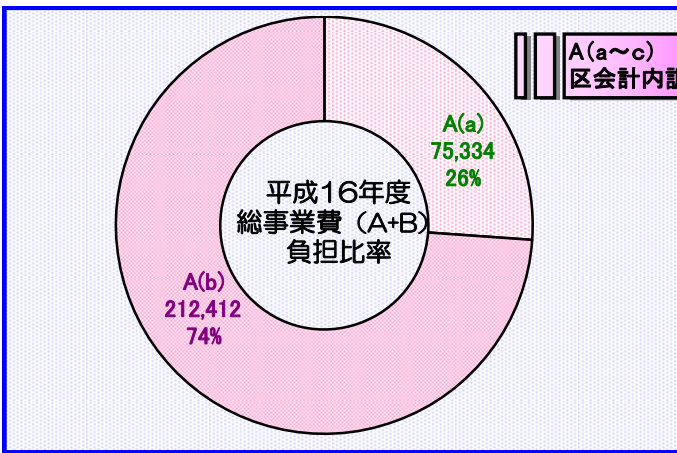
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	小中学校大規模改修事業	手洗所を含め、外壁・屋上防水・耐震補強等を計画的に実施している。
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

- ・平成13年度より国庫補助金の対象化（補助率1/3）に伴い、計画的に実施
- ・他の自治体では、単独事業ではなく、主に大規模な内部改修等の時期に併せて実施しています。
- ・中学校は設置時から男女別仕様なので、老朽化に伴う工事を計画的に実施しています。

16年度総事業費（A+B） 297,254千円



A 区の会計内訳（a～c） 297,254千円

A(a) 国庫支出金（歳入）	27,967千円	国庫補助金（工事費の1/3補助）
A(b) 区負担分	269,287千円	
A(c) 受益者負担（歳入）	0千円	

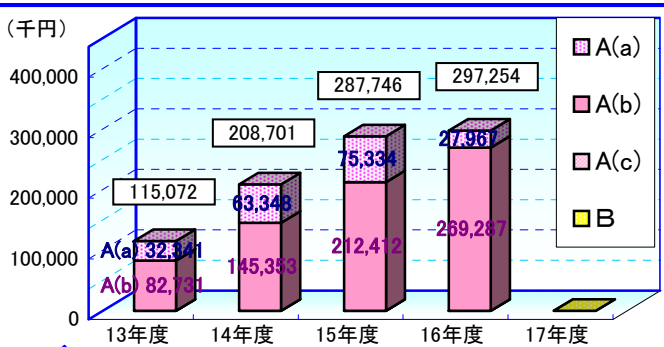
支出内訳（①～⑦）

① 設計	4,169千円	設計委託額
② 工事	272,270千円	工事請負契約額
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦ 区職員の人件費	20,815千円	計画調整、設計・施工管理職員

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

総事業費の経年変化（13年度～）



経費は全額公費で負担しています。

16年度の
工事にかかる一系統あたりの経費 **2,973万円**

経費の説明

工事費には、簡易間仕切りから男女別への改修工事の他、洋便器化・床のドライ化・老朽化の改修費用を含みます。手洗所を一定の仕様に改修するため、経費は横ばい傾向です。

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	37	事業名	学校手洗所改修工事
-------------	----	------------	-----------

所属名	教育委員会 庶務課 施設係
------------	---------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。					○	
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。	○					
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。	○					
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。					○	
8	民間委託の可能性はある。					○	
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

所 管 部 長 の 意 見

限られた財源の中で最優先したのは男女別手洗所への改修であり、この際に洋式便器を導入することにより、内装費等のコストダウンを図った。これらは児童・生徒の意識変化に合わせたものであり、学校生活の快適性の向上に繋がったものと考えている。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	37	事業名	学校手洗所改修工事
-------------	----	------------	-----------

所属名	教育委員会 庶務課 施設係
------------	---------------

外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。					○	
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。	○					
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。				○		
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。				○		
8	民間委託の可能性はある。				○		
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

外部評価委員会の意見

- ・経費のこともあり、全校を短期間でというわけにもいかないだろう。計画的かつ積極的な改修を進めてほしい。
- ・家庭でも洋式トイレが主流であり、児童にとって学校の和式トイレは使いづらいのではないかと懸念される。区は、早い時期に快適なトイレへの改修を努力してほしい。
- ・プライバシーとのバランスをとりながらも、あまり閉塞的な空間とならないように留意してほしい。